

貸切バスの幹事様・ご利用者様へ

快適なバスの旅を実現するために

出発前に知っておきたい、貸切バス利用の実用ガイド

「知らなかった」をなくして、当日をもっと安心・快適に。

旅行・研修・社員旅行・学校行事・団体送迎など、貸切バスをご利用になる際の準備と当日のポイントを、幹事様向けに分かりやすくまとめました。

この冊子で分かること	
01 人数と荷物	車種・座席・トランクを事前確認
02 車内設備	マイク・冷蔵庫の上手な使い方
03 安全とマナー	危険物・シートベルト・休憩
04 乗務員との連携	心付け・当日の確認・変更連絡
05 幹事様チェック	準備から到着までの確認リスト



京都貸切バス予約センター

<https://bus-kyoto.com/> | フリーダイヤル 0120-97-4411

※車両・設備・取扱いはバス会社や車種によって異なります。必ずご予約時にご確認ください。

01 | 人数と荷物の準備

快適さは「定員」だけでなく、座席と荷物スペースの余裕で決まります。

「定員」と「正席数」は違います

車両の定員には補助席を含む場合があります。長時間の旅行やゆったり座りたい場合は、補助席を使わない「正席〇席以上」と希望を伝えましょう。幹事様・添乗員用の席や、車内で使う備品の置き場も考慮します。

添乗員が付く場合は、ドライバーさんとの連絡や冷蔵庫のものを取りやすいなどの理由から助手席側（左側）の一番前のお席をいただくことが多いです。

幹事様は皆様へのご案内などマイクを使われることがあるためと、添乗員・ドライバーとの連絡の為に運転席の後ろの席に座られることがほとんどです。

車種	人数・荷物の考え方
大型バス	正席 45～49 席程度が代表的。その他補助席（通路に設置）が 6～11 席あります。床下トランクが比較的大きく、荷物の多い団体に向きます。と言ってもインバウンドなど大きなお荷物の場合は 30 個程度しか入りません。
中型バス	正席 20～27 席など。トランクの容量・形状は車両により差があります。
小型・マイクロバス	正席 12～21 席。補助席が 0～6 席。少人数の送迎向き。床下トランクはありません。

荷物の量は予約前に伝えましょう

スーツケース・ゴルフバッグ・楽器・車いす・景品・クーラーボックスなど、大きい荷物は「個数」と「おおよその寸法」を伝えると確実です。大型バスでも大きなスーツケースが人数分入るとは限りません。

大型バスの荷台の参考：高さ約 68cm × 横幅約 150cm × 奥行約 220cm の区画が 2 つ程度。実際の寸法・積載可能量は車両ごとに異なります。

荷物の積み分けが当日のコツ

出発後に使う飲み物・お菓子・ゲーム用品・薬などは、適切に固定して手元へ。降車まで使わない旅行かばんはトランクへ。通路や非常口をふさぐ積み方はできません。

- 乗車予定人数（大人・子ども）、必要な正席数を確認
- スーツケースのサイズと数量、特別な荷物の有無を共有
- 荷物量が多ければ、車種変更・増車・別送も相談

02 | 車内設備を上手に使う

車載マイクは、発車前に場所と使い方を確認

大型・中型バスでは乗降口付近のガイド用マイクのほか、中央付近に予備マイクの差込口がある車両もあります。小型・マイクロバスも装備の有無・位置が異なります。挨拶やレクリエーションに使う場合は出発前に乗務員へ確認しましょう。

（マイクは運転席の壁側にあることが多いです）



車載冷蔵庫は「冷えた飲み物の保冷」に

サイト掲載車両の目安では、大型・中型バスは 350ml 缶約 48 本、小型・一部マイクロバスは約 24 本です。冷蔵庫はエンジン稼働中に動くタイプが多く、常温の飲み物を短時間で冷やす用途には向きません。あらかじめ冷やして持参し、容量や利用可否を事前確認してください。



マイク・冷蔵庫・テレビ・DVD・サロン席・トイレなどは、全車標準装備ではありません。必要な設備はお申込み時に指定してください。

楽しい車内レクリエーションのために

ビンゴや案内放送などは、機器の利用可否を前もって確認。映像・音楽の放映には著作権上の制約がある場合があります。大きな音や長時間のマイク利用は控え、体調が悪い方や休みたい方にも配慮しましょう。

車内での飲食・ごみ・温度調整

飲食やアルコールの可否は運行会社のルールに従ってください。においの強いもの、こぼれやすいものは避け、ごみの持ち帰り方法も確認。エアコン調整などの希望は、幹事様が取りまとめて安全なタイミングで乗務員に伝えましょう。

- マイクを使う・冷蔵庫に入れるものを事前に整理
- 車内行事の予定は余裕を持って乗務員へ共有
- 座席移動は停車中に。走行中は着席してシートベルト

03 | 安全・持込禁止物・休憩

危険物は車内・トランクともに持込禁止場合があります

火薬類、引火性液体、発火・爆発・腐食のおそれがある物、高圧ガスなどは原則として持ち込めません。特にバーベキュー用燃料、花火、ガスボンベ、ビールサーバー用の炭酸ガス等は要注意。品目・数量によって取扱いが変わるため、疑わしい物は必ず事前相談してください。

バスは荷物を運ぶためではなく、安心・安全に人を運ぶことを最優先にしておりますのでご了承ください。

事前確認したい物	対応の目安
キャンプ・BBQ 用品	燃料・ガス・着火用品は持込可否を事前確認
花火・イベント備品	品目・数量を具体的に申告
ガスボンベ・炭酸ガス	バス会社の規定を事前確認。無断持込は避ける
大きな荷物・長い荷物	出入口・通路・非常口をふさがないか確認

走行中の基本ルール

座席ではシートベルトを着用。立ち歩きや通路での荷物整理はせず、降車は完全停止後に。車内の安全については乗務員の指示を最優先してください。

安全のための休憩時間を大切に

貸切バスの運行には運転者の休憩や運行時間等のルールがあります。道路状況によって到着時刻が変わることもあるため、トイレ休憩・昼食・見学に余裕を持たせた計画が安心です。急な行程追加や延長は、運行上お受けできない場合があります。

重要：危険物の判断や運行可否は、法令・運行会社の規則・現場判断が優先されます。「少量だから大丈夫」と判断せず事前にご相談ください。



04 | 乗務員（ドライバー、ガイド）さんとの上手な連携

お心付け（寸志）は必須ではありません

お心付けはあくまで任意で、お渡ししなくても問題ありません。参考例として、日帰り旅行の場合 1,000～2,000 円程度、1 日観光・1 泊 2 日の旅行なら 3,000～5,000 円程度とご案内をしています。稀に日帰りでも 5 千円、宿泊を伴う旅行で 1 万円の寸志をいただくことがあり、乗務員はかなり喜びます。これらは義務・規定料金ではありません。所属先の方針やご予算に合わせて判断して頂ければと思います。

お心付け（寸志）のお渡しする場合のタイミングと方法

無地の封筒や「寸志」「お飲み物代」等と記した封筒を利用する例があります。出発前に「本日はよろしくお願ひします」と渡しても、終着時に感謝を伝えても構いません。ドライバーとガイドがいる場合は別の封筒にする方法もあります。会社方針によって受領できない場合もあります。

昼食と宿泊の手配も事前確認

乗務員の昼食、長時間待機中の休憩、宿泊を伴う場合の乗務員宿泊などは、見積り・手配条件を事前に確認してください。乗務員の休憩時間を無理に短縮したり、休憩時間中に案内を依頼したりしない配慮が大切です。

添乗員が付かない場合、当日の連絡は「幹事様が窓口」に

集合・出発前に、最終人数、立寄地、集合時刻、降車場所、緊急連絡先を確認しましょう。行程変更や予定外の立寄りは、乗務員へ直接依頼するだけでなく、まず旅行会社・手配窓口にご相談するのが確実です。安全運転に集中できるよう走行中の長い相談は避けましょう。

ひとこと例：「本日、幹事の〇〇です。本日はよろしくお願いいたします。こちらは少しですが寸志になります。本日の行程の確認なんですが、・・・」



05 | 幹事様の出発前チェックリスト

当日の行き違いを減らすため、印刷してチェックしてお使いください。

1 週間前～前日

- ☐ 利用日・集合場所・配車時刻・最終帰着時刻を確認した
- ☐ 人数・正席数・荷物の種類と数量を確認した
- ☐ 立寄地・昼食先・駐車場所（予約の有無）・乗降場所を確認した
- ☐ 車内設備（マイク・冷蔵庫等）の有無を確認した
- ☐ 危険物に該当しそうな備品は事前に相談した
- ☐ 乗務員の昼食・宿泊・駐車料金・高速料金等費用負担を確認した

出発当日

- ☐ 参加者の点呼・連絡先を確認した
- ☐ マイクの位置・使い方、休憩の目安を確認した
- ☐ 荷物を安全に積み込み、通路と非常口を確保した
- ☐ 全員にシートベルト・時間厳守・ごみの案内をした
- ☐ 忘れ物を確認し、最後に乗務員へお礼を伝えた

旅行の準備から当日の運行まで、幹事様だけで抱え込まず、まずはご相談ください。

京都貸切バス予約センター

貸切バスの選定、行程確認、駐車場の手配、昼食や旅行プランのご相談に対応しています。

ご人数が多い場合は添乗員やバスガイドなど幹事様の負担軽減にお役に立てるかと思います。

ご連絡お待ちしております。

ウェブサイト <https://bus-kyoto.com/>

フリーダイヤル 0120-97-4411

運営：旅行企画 萬転 / 京都府知事登録旅行業 第 2-525 号